〇文部科学省告示第百十一号

大 学 短 期 大 学 及 び 高 等 専 菛 学 校 \mathcal{O} 設 置 等 に 係 る 認 可 \mathcal{O} 基 準 \mathcal{O} 部 を 改 正 す る 告 示 を次 0) ょ うに定

める。

令和七年九月二十四日

文部科学大臣 阿部 俊子

大 学 、 短 期 大 学 及 び 高 等 専 門 学 校 \mathcal{O} 設 置 等 に 係 る 認 可 \mathcal{O} 基 準 \mathcal{O} 部 を 改 正 す る 告 示

大 学 短 期 大 学 及 び 高 等 専 門 学 校 \bigcirc 設 置 等 12 係 る 認 可 \mathcal{O} 基 準 平 成 + 五. 年 文 部 科 学 省 告 示 第 兀 十 五

号)の一部を次のように改正する。

لح 定 る L 次 L た \mathcal{O} \mathcal{O} 他 7 規 傍 \mathcal{O} 表 移 定 線 規 に 定 を ょ 動 り、 以 と 付 下 記 L 改 号 た 改 に 正 対 部 正 後 象 ょ 分 前 欄 規 欄 ŋ \mathcal{O} 定 に ょ に 撂 う 括 掲 げ と に げ L る 7 改 る 7 う。 対 掲 規 \Diamond 象 定 げ 規 る 改 \mathcal{O} 定 傍 規 は 正 で 定 線 前 改 改 に 欄 を 正 付 正 あ 及 前 前 び 0 L 欄 欄 て 改 た 12 に 正 部 は 掲 後 分 れ げ そ 欄 を に る \mathcal{O} に 対 標 対 対 れ 応 象 記 応 12 す 規 順 部 L る 定 7 次 分 ŧ を に 掲 対 0) 改 係 応 げ す を 正 る る 掲 記 る 後 そ げ 欄 改 載 \mathcal{O} 7 標 正 に 掲 後 に 1 記 欄 な げ 部 る 重 に 1 分 対 傍 掲 Ł 象 線 連 げ \mathcal{O} 規 を 続 る

は

れ

を

加

え

る

定

付

す

規

第 4 1 第 5 るに認適 兀 と一はり上 ○後五なす国当部容短 年の年又 倍修倍いるに該の定期外あ 認 な とお可用条 3 条 見けのさ 学 も年設短学員大国る 定 لح < 同 V に 等に 一と年第の数け期科充学にの \bigcirc す ŧ 年 編 該 込る申れ第 号 す \mathcal{O} な 略略 る大の足に学は倍中学学み率対部「「 るも 入学 とが の差限をにに るも ま薬請な-学 け部 す限六 し経 を れ剤のい条 部 る 関 等 過部がをにす又 除相相 る師審場第 \mathcal{O} \mathcal{O} 定 修 等 す < 当規同し等外外当るは あ 員 地の査合七 と 当 当 業 申 に \mathcal{O} る を変更した収容定員な する年 「する L 域確にに項 _ 国国該第学 対 す定号て る 年 請 法 す す中いとにに大一科○ 五. て 限 の保つおの \mathcal{O} \mathcal{O} 第 年 医のいけ規 年る 「ない設設学項を倍 は 倍 る 文 で に 日 兀 -数と編 第一 改 療たてる定 部 あ 数 相 条 12 とあ) た 学 機めは臨に 科 って当 に を 当 お 学大 す `床よ 関の 項 正 第 年 更 又教当薬り る 入学定員 部 る て 項 等に しけ倍係う(に設規学 たる」るち以はけ定及 該 を は育該学同 臣 L 五の 年 \mathcal{O} 後 しるち以はけ定及 と収開下当るのび 大学 加 た後 たる学 薬内大に条 倍」 は 号 数 が 認 あっ 局容学関第 え を \mathcal{O} 別 可 に及がすー って 修 の部あ容設こ該学適外 لح 規 等 た を に 経 部 \mathcal{O} の年 設 将び行る項 に等る定後の一部用国 定 定 業 過 等 申 $\overline{}$ 国数けて 来薬お学第 あでの員修条部へにに は 年 \mathcal{O} 8 \mathcal{O} -• 限 勤剤う科五 っあは充業にの学つ学 適 るところに 際 て 設 を との号 倍 用 競 当に 係 務師 V) 1 置 につ 経 る年次 な しがす設の 争力の向 該 相 る大学 後 と 当該学 過 学 いも よ不る置規 当する Ŧi. う足地等定とす域のが V` 部 L 三置○ま当外は一収る 等 て て \mathcal{O} 第 1 第 項を るに認適 兀 • ○後五なす国当部容短 5 6 倍修倍いるに該の定期外 とお可用条 3 条 見けのさ も年設短学員大国 加える。 込る申れ第 年第の数け期科充学に 同同 同す限五とがる大の足に学 ま薬請な-上るに項し経学学み率対部 上上 れ剤のい条 相に、過部がをにす又 る師審場第 当規同し等外外当るは す定号て」国国該第学 地の査合六 域確にに項 す定号て の保つおの る す中いとにに大一科 医のいけ規 年る 「ない設設学項を 数外一いうけけが第設 が国・も。るる外三け 改 療たてる定 機めは臨に 一学場国号る 経に○の 正 関の `床よ 過設五にの科合にの大 又教当薬り しけ倍係うへに設規学 は育該学同 前 る るち以はけ定及 薬内大に条 局容学関第 学と収開下当るのび の部あ容設こ該学適外 に及がす一 将び行る項 る定後の一部用国 に等 での員修条部へにに 来薬お学第 あ つあは充業にの学つ学 勤剤う科五 務師との号 て 足年お学部い科 2 「率限い科のてを つうは ひ しがす設の はて、 一、 うな設 よ不る置規 ・設・含相「又ち、け う足地等定 とす域のが 三置○ま当外は一収る

も員が護す道定金す の等作総る府めのる との成合学県る貸当 す増す確科の基与該 る加る保の知準そ大 と計法収事にの学) し画第容が該他の にてに四定認当の臨 照記当条員めす支床 ら載該第増たる援薬 しさ大一にも区へ学 てれ学項係の域第に 行たののるにの一関 う人臨都学限都条す も数床道則る道第る のの薬府の。府七学 と支学県変一県項科 す援に計更のがのの るに関画に内行文学 必すそあ容う部生 要るのっへも科に な学他て臨の学対 内科のは床又大す 容の都、薬は臣る を入道医学当が修 含学府療に該別学 む定県介関都に資

第わ学課規平十科令及成二十大 及のす規学 三れの程定成八の第び二十条学令び申る則のこ 号る設のす十号設三専十一第設和期請大へ設の略 及も置変る五~置十門九号一置五六に学平置告 びの等更国年第、四職年)項基年項係の成等示 第をのを際文三大号短文第、準度のる設十のの 五除認い連部十学ご期部四短へに規審置八認施 項く可う携科五院第大科十期昭行定査等年可行 並。の。専学条設五学学三大和おはにを文のの びご申ご攻省第置十設省条学三う、対い部申際 にに請及の令一基九置令第設十となすう科請現 附係へび設第項準条基第一置一すおる。学及に 則る令令置十及へ第準三項基年る従改次省びさ 第審和和並六び昭一(十、準文国前正項令届れ 二 査 六 六 び 号 専 和 項 平 三 専 ヘ 部 際 の 後 に 第 出 て 項に年年にご門四に成号門昭省連例のお十にい 及対三度国第職十規二)職和令携に第い二係る びす月に際三大九定十第大五第学よ一て号る大 第る以行連十学年す九六学十二科る条同ご手学 四第後お携五院文る年十設年十等。第じ第続の 一。一等設 項一にう専条設部国文二置文八の の条申と攻第置省際部条基部号設 項一条に置 規第請すに一基令連科第準省 一置 第のに関等 定一がる係項準第携学一へ令第等 三認規すへ の項行大るに、二学省項平第五へ 号可定る大

第わ学課規平十科令及成二十大 及のす規学 三れの程定成八の第び二十条学令び申る則のこ; 号る設のす十号設三専十一第設和第請大一設の「同 及も置変る五)置十門九号一置五五に学平置告上 びの等更国年第、四職年)項基年項係の成等示 第をのを際文三大号短文第、準度のる設十のの 四除認い連部十学ご期部四短へに規審置八認施 項く可う携科五院第大科十期昭行定査等年可行 。の。専学条設五学学三大和おはにを文のの びご申ご攻省第置十設省条学三う、対い部申際 にに請及の令一基九置令第設十となすう科請現 附係へび設第項準条基第一置一すおる。学及に 則る令令置十及へ第準三項基年る従改次省びさ 第審和和並六び昭一、十、準文国前正項令届れ 二査六六び号専和項平三専へ部際の後に第出て 項に年年にご門四に成号門昭省連例のお十にい 及対三度国第職十規二)職和令携に第い二係る びす月に際三大九定十第大五第学よ一て号る大 第る以行連十学年す九六学十二科る条同ご手学 。第じ第続の 四第後お携五院文る年十設年十等 一。一等設 項一にう専条設部国文二置文八の 項ご条に置 の条申と攻第置省際部条基部号設 規第請すに一基令連科第準省ご置 第のに関等 定一がる係項準第携学一へ令第等 三認規すへ の項行大るに、二学省項平第五へ 号可定る大

む定県介関都に資

も員が護す道定金す

の等作総る府めのる

との成合学県る貸当

とる員員を前示専は適 ∵あの超充いのへ門「用 るは過足う第令学又に

表 の「率率。一和校はつ 中 は又一一以条四の平い \mathcal{O} 「はとと下第年設均て 学平、あ同一文置入は 生均附るじ項部等学、 \mathcal{O} 又入則の。第科に定同 記 は学第はご三学係員条 載 入定二「が号省る超第 及 学員項収 、に告認過一 び 者超及容」規示可率項 対 □過び定と定第のへ第 と率第員、す百基大三 規 すの四充同る二準学号 定 る算項足条平十の、中 0 。定中率第均九一短二 「又四入号部期が 重 とのは項学でを大、 傍 、算平中定に改学し 線 「定均「員よ正及と を 学一入収超るすびあ 付 生と学容過改る高る 」あ定定率正告等の た 標 とる員員を前示専は適

記 部 分 を 除 < 全 体 12 付 L た 傍 は 注 記 で あ る

L

備 考

> あの超充いのへ門「用 同るは過足う第令学又に の「率率。一和校はつ は又一一以条四の平い 「はとと下第年設均て 学平、あ同一文置入は 生均附るじ項部等学、 又入則の。第科に定同 は学第は一三学係員条 入定二「が号省る超第 学員項収、に告認過一 者超及容」規示可率項 過び定と定第の一第 と率第員、す百基大三 すの四充同る二準学号 る算項足条平十の、中 定中率第均九一短「 一「又四入号部期が とのは項学でを大、 、算平中定に改学し 「定均「員よ正及と 学し入収超るすびあ 生と学容過改る高る

> > 」あ定定率正告等の

附

則

この告示は、 公布の日から施行する。